

ジョリパット不燃
JQ-200シリーズ
ウォーターフォール仕上げ
施工の手引き

平成19年5月25日【初版】

アイカ工業株式会社
第二R & Dセンター
建設樹脂開発グループ

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー	ジヨリパットシーラー JS-500	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	18 kg石油缶	約 5 1 4 m ² / 缶
主 材	ジヨリパット不燃 JQ-200 シリーズ 標準色 JQ-200、JQ- (...数字) 特注色 JQ 200 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20 kgペール缶	A色(淡色) 約 1 2 m ² / 缶 B色(濃色) 約 2 6 m ² / 缶

A色(薄い色)は、下塗り、上塗りに使用。

< 主な施工道具 >

- ・ステンレスゴテ(剣先ゴテ)

< 下地調整 >

標準下地は、石膏ボード(プラスターボード)又はモルタルとする。

<ウォーターフォール仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	J S - 5 0 0	1 8 k g
	清 水	1 8 リッ
塗 布 量	0 . 0 7 k g / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

3 時間以上 4 8 時間以内

2. 主材 下塗り (A 色)

- ・ジョリパット不燃 A 色を無希釈で 0 . 8 kg / m² となるようステンレスゴテで平滑に塗布する。

夏期 4 時間以上

冬期 12 時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

(A 、 B 色)

配 合	J Q - 2 0 0 シリーズ	2 0 k g
塗 布 量	約 1 . 5 kg / m ²	
	(A 色、 B 色約 0 . 7 5 kg / m ² ずつ)	

施工道具

ステンレスゴテ

A 色、 B 色を等量ずつ定板の上にのせ、
2 色を同量ずつコテでとり、混ざらない
よう配り塗りする。(図 - 1)

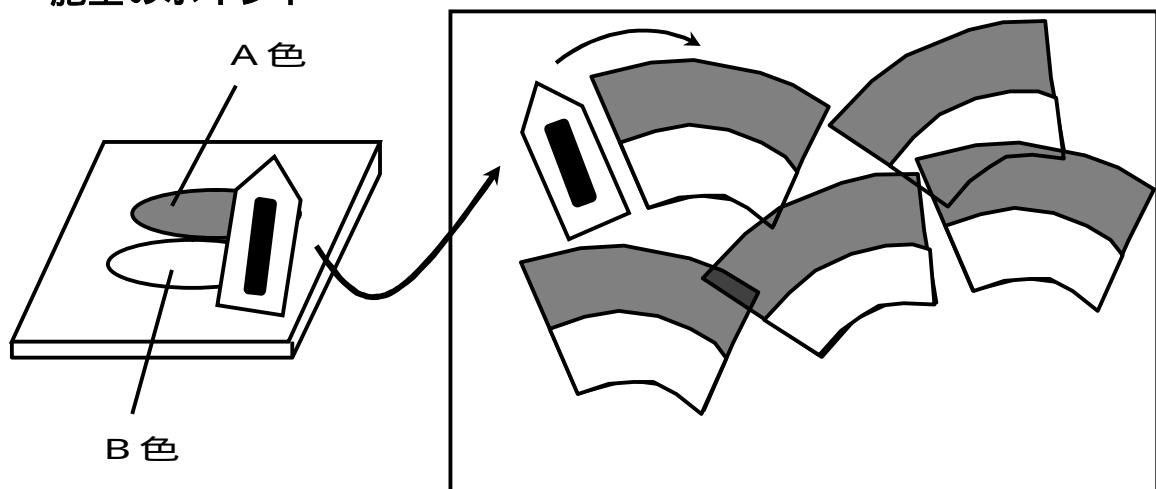
追かけ塗り (5 分以内)

4. パターン付け

- ・ステンレスゴテのエッジ部分に力を入れ、下から上へ
コテを動かし、パターン付けする。(図 - 2)
- ・パターン付けは、ランダムに行う。(図 - 3)

2 4 時間以上放置して乾燥させる。

<施工のポイント>



A色・B色が混ざらないよう扇状に配り塗りする。

図-1

- コテのエッジ部分に力を入れ、ジョリパット不燃を下から上へ塗り延ばすような感覚で動かし、最後は手前にコテを跳ね上げるようにしてパターンを付ける。
(図 2)



図-2

- ・パターンが横方向にそろわないようにパターンを付ける。
- ・隣り合う模様に隙間をあける。

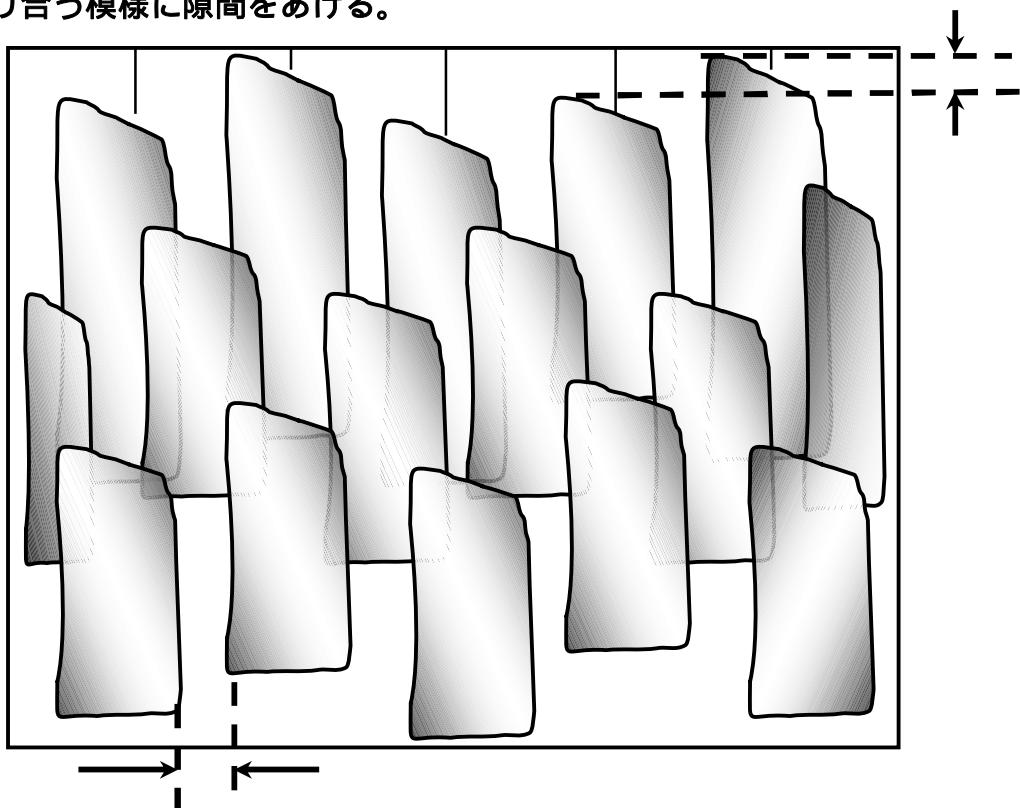


図-3

入り隅、出隅の処理方法

- ・入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパット不燃が乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図 4）

入り隅

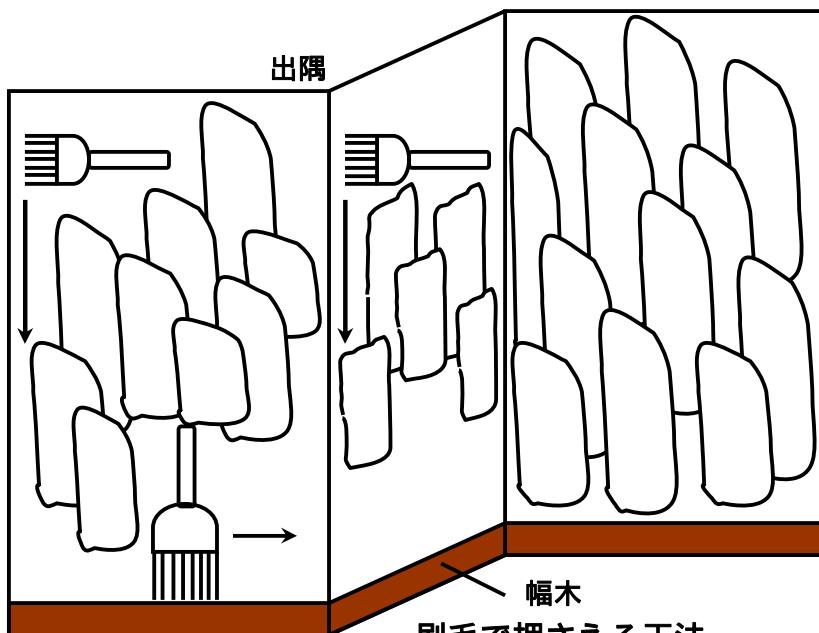


図 4

- ・何度もパターン付けをやり直すと、2色のジョリパット不燃が混じり合い、色がぼけます。
- ・コテの大きさや形状によりパターンは多少異なります。
- ・何度もパターンの手直しをすると、ジョリパット不燃が乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。

<施工の注意事項>

- ・施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上の場合、原則として施工を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、採暖などの養生を行って下さい。
- ・材料の練混ぜはハンドミキサーなど機械練りとし、均一になるまで十分に練り合わせて下さい。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・**このパターンは作業者により仕上がりにバラツキの出やすいパターンです。塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めて下さい。**

以 上